

# 会社案内

Company Guidance



南日本くみあい飼料株式会社

## 社 是

### 一、一致団結

畜産農家の負託に応え、安全で良質な飼料の安定供給に一致団結して邁進する。

### 一、永遠なる挑戦

与えられた職務に対し常に原価意識に徹し、自己革新に燃え、積極的に挑戦する。

### 一、安全かつ健全な職場

安全を第一とし、誠実なる協調の精神により、健康で明るい職場づくりに努力する。

## 品質方針

畜産農家の負託に応えるために、継続的な業務改善に取り組み、「安全で良質な

低コスト飼料」の安定供給に、一致団結して邁進する。

# 会社の概要

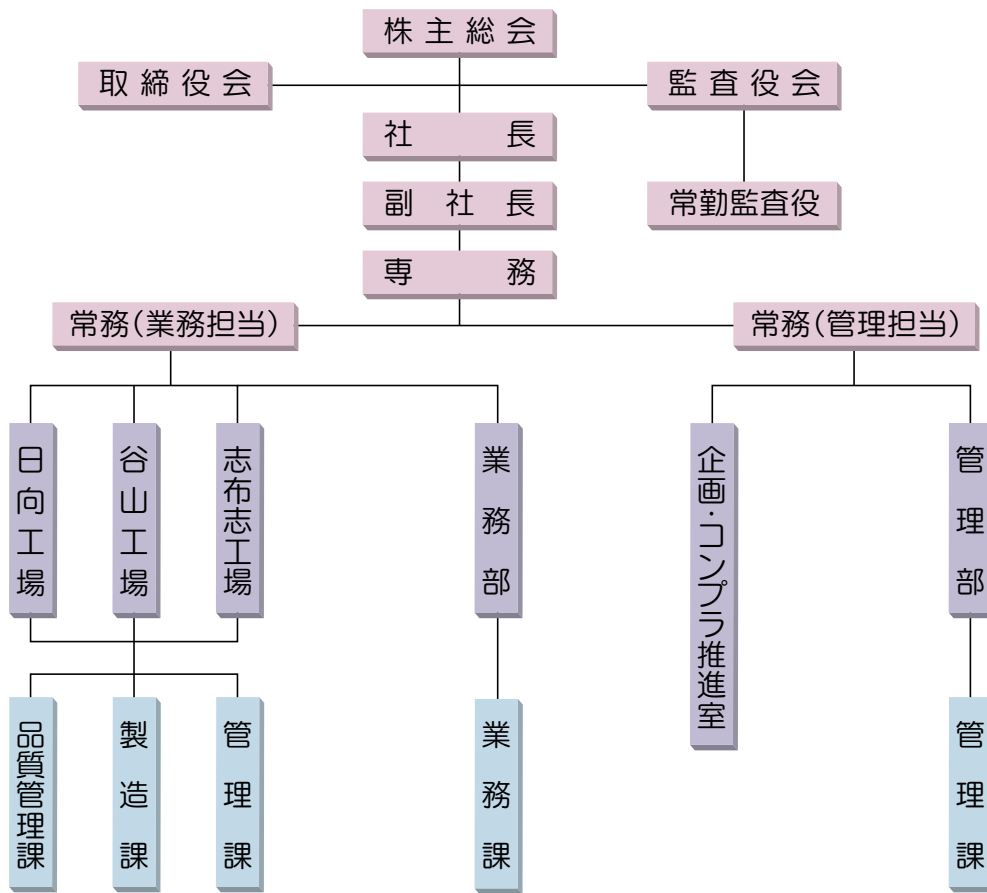
●会社名	南日本くみあい飼料株式会社
●設立	昭和42年 4月 (株)宮崎県経済連飼料工場(宮崎くみあい飼料(株)) 昭和42年 11月 鹿児島県くみあい飼料株式会社 昭和46年 3月 南九州くみあい飼料株式会社
●合併	昭和57年 4月
●資本金	10億円
●出資構成	全国農業協同組合連合会 …………… 3億9千万円 鹿児島県経済農業協同組合連合会 …… 3億2千5百万円 宮崎県経済農業協同組合連合会 …… 2億8千5百万円
●所在地	本社 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町15番地(JA鹿児島県会館7F)  志布志工場 〒899-7103 志布志市志布志町志布志3310番地  谷山工場 〒891-0122 鹿児島市南栄四丁目14番  日向工場 〒883-0062 日向市大字日知屋字新開17371番地1

# 会社のあゆみ

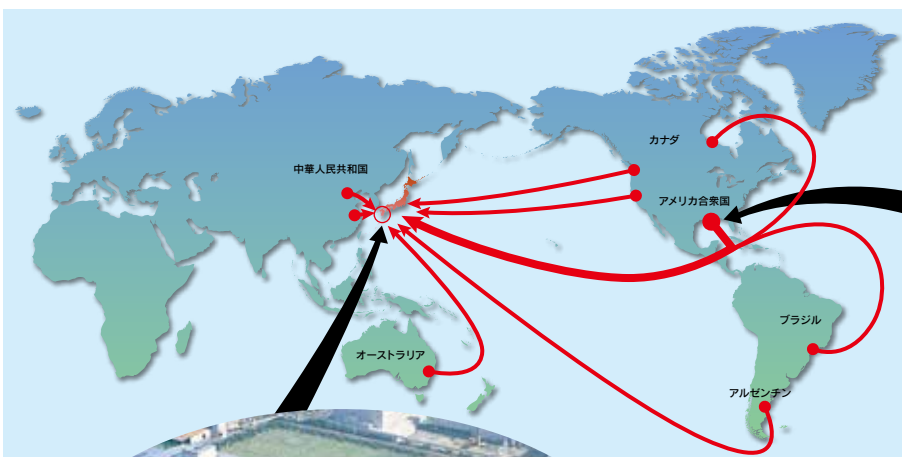
年	南九州くみあい飼料(株)	宮崎くみあい飼料(株)	鹿児島県くみあい飼料(株)
昭和42		4月 (株)宮崎経済連飼料工場設立	11月 会社設立
43		4月 操業出荷開始	11月 操業出荷開始
46	3月 会社設立		
47	12月 操業出荷開始		
48		5月 宮崎くみあい飼料(株)へ社名変更	
53	12月 第2工場操業出荷開始		9月 鹿児島県くみあい肥飼料(株)へ社名変更
56			1月 肥料工場を分割し鹿児島県くみあい飼料(株)へ社名変更
57	<b>4月 会社合併により南日本くみあい飼料(株)発足</b>		
	谷山工場	日向工場	錦江工場
62	6月 志布志工場操業出荷開始 ・ 3月 錦江工場閉鎖		
平成16	11月 日向工場旧製品倉庫を牛用飼料専用倉庫に改修		
17	1月 谷山工場改修(第1工場を鶏・豚用飼料専用工場に、第2工場を牛用飼料専用工場に特化)		
	3月 日向工場を鶏・豚用飼料専用工場に特化(牛用飼料専用倉庫から志布志工場転送品の出荷開始)		
	3月 志布志牛用飼料専用工場(第2工場)操業出荷開始、同第1工場を鶏・豚用飼料専用工場に特化		
19	11月 志布志工場 抗菌性GMPガイドライン認証取得		
	12月 谷山工場・日向工場 抗菌性GMPガイドライン認証取得		
26	10月 BCP(事業継続計画)に基づく災害対策として、日向工場新事務所建設		



# 組織機構図



# 原料の主な輸入国



とうもろこし



マイロ



全農グレイン(ZGC)

所在地: 米国ルイジアナ州ニューオーリンズ



全農サイロ(株)志布志支店

大麦



小麦



アルファルファペレット



# 製品の供給エリア／工場配置図

## 谷山工場



### 供給エリア

- ・鹿児島県薩摩半島
- ・熊毛・大島
- ・沖縄

### 製造畜種

- ・牛用
- ・鶏豚用

## 日向工場



### 供給エリア

- ・宮崎県中北部

### 製造畜種

- ・鶏豚用



## 志布志工場



### 供給エリア

- ・宮崎県南部
- ・鹿児島県大隅半島
- ・宮崎県全域(牛)

### 製造畜種

- ・牛用
- ・鶏豚用

# 志布志工場

## ●あゆみ

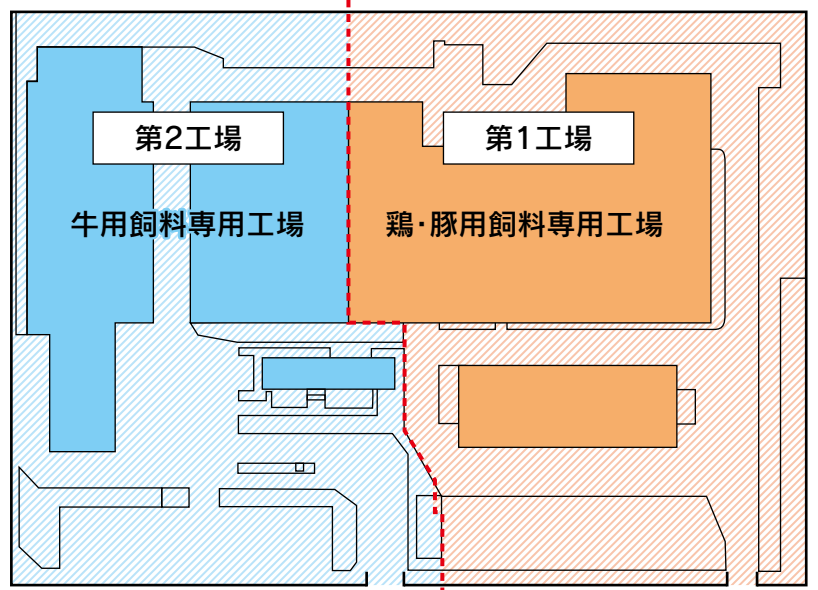
第1工場建設着工	昭和61年4月
第1工場操業開始	昭和62年6月
第2工場(牛専用)建設着工	平成16年6月
第2工場(牛専用)操業開始	平成17年3月
第1工場を鶏豚専用に特化	平成17年3月

## ●工場概要

土地	61,698㎡(約18,700坪)
建物	32,271㎡(約9,780坪)

## ●生産能力(定時)

牛専用工場	12,500トン/月
鶏豚専用工場	25,000トン/月



工場配置図

牛専用出入口

鶏・豚専用出入口

## 主要設備(牛専用工場)

- 配合設備 ..... 3系列  
マッシュ系列 ..... 3tバッチミキサー  
フレーク系列 ..... 5tバッチミキサー  
バルキー・粗飼料系列 ... 6t連続混合ミキサー
- 主・副原料粉碎機 ..... 5台
- ヘイキューブ割砕設備 ..... 2系列
- 圧ベン加工設備 ..... 3系列
- ペレット加工設備 ..... 2系列
- 自動包装設備 ..... 2系列
- パレタイザー設備 ..... 2系列
- TB自動充填設備 ..... 1系列
- バラ製品出荷口 ..... 8ゲート
- サイロ・タンク施設  
主・副原料サイロ ..... 6基(1,200t)
- タンク施設  
副原料タンク ..... 48本(1,150t)  
糖蜜タンク ..... 2本(60t)  
配合タンク ..... 142本(2,520t)  
製品タンク(袋、TB) ..... 15本(300t)  
バラ製品タンク ..... 80本(2,400t)



中央制御室



ペレット加工設備



原料搬入設備



自動包装設備



粉碎設備



タンク設備





工場全景

## 主要設備(鶏豚専用工場)

- 配合設備 ..... 4系列
  - 非抗菌性飼料系列 ..... 5tバッチミキサー
  - 非抗菌性飼料系列 ..... 3tバッチミキサー
  - 抗菌性飼料系列 ..... 5tバッチミキサー
  - 2種混合飼料系列 ..... 1.5tバッチミキサー
- 主・副原料粉碎機 ..... 12台
- ペレット加工設備 ..... 4系列
- 自動包装設備 ..... 2系列
- パレタイザー設備 ..... 2系列
- TB自動充填設備 ..... 1系列
- バラ製品出荷口 ..... 18ゲート
- サイロ施設
  - 主原料サイロ ..... 8基(2,400t)
  - 副原料サイロ ..... 6基(1,200t)
- タンク施設
  - 副原料タンク ..... 70本(2,420t)
  - 油脂タンク ..... 4本(150t)
  - 糖蜜タンク ..... 2本(60t)
  - 配合タンク ..... 215本(3,300t)
  - 製品タンク(袋、TB) ..... 19本(570t)
  - バラ製品タンク ..... 185本(5,550t)



中央制御室



バラ製品出荷



原料搬入設備



オートサンプラー



粉碎設備



品質管理室



# 谷山工場

## ●あゆみ

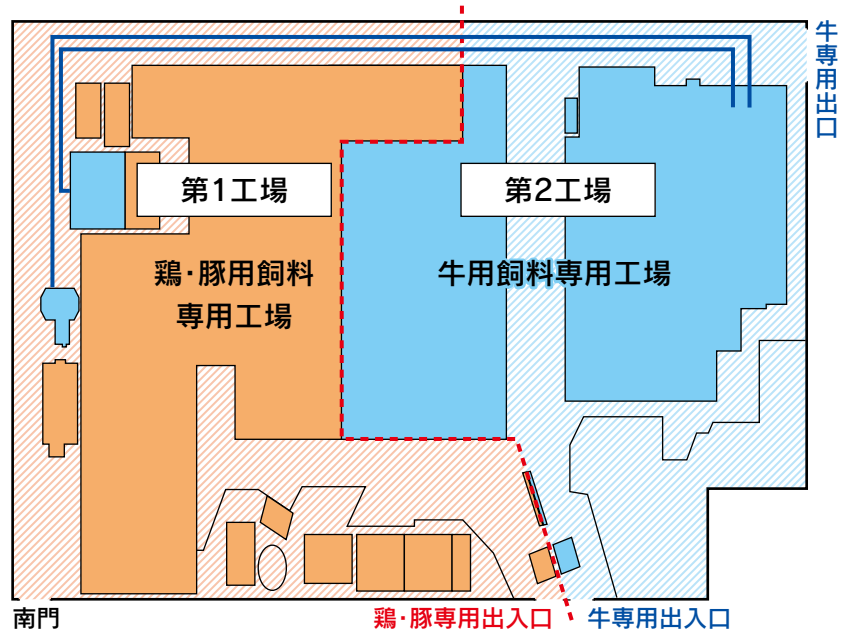
南九州くみあい飼料(株)設立	昭和46年 3月
第1工場操業開始	昭和47年12月
第2工場増設操業開始	昭和54年 3月
特別高压受電開始	昭和57年 2月
会社合併	昭和57年 4月
第2工場混合粗飼料設備増設	平成 3年 9月
第2工場を牛専用に改修、本格稼動	平成17年 1月

## ●工場概要

土地	49,576㎡(約15,000坪)
建物	31,135㎡(約 9,400坪)

## ●生産能力(定時)

牛専用工場	9,900トン/月
鶏豚専用工場	26,400トン/月



工場配置図

## 主要設備(牛専用工場)

- 配合設備 ..... 2系列  
マッシュフレーク・  
バルキー系列 ..... 6t連続混合ミキサー  
粗飼料系列 ..... 3tスケールブレンダー
- 主・副原料粉碎機 ..... 6台
- ヘイキューブ割砕設備 ..... 1系列
- 圧ベン加工設備 ..... 2系列
- ペレット加工設備 ..... 1系列
- 自動包装設備 ..... 1系列
- パレタイザー設備 ..... 1系列
- TB自動充填設備 ..... 2系列
- バラ製品出荷口 ..... 6ゲート
- サイロ・タンク施設  
主原料サイロ ..... 2基(800t)
- タンク施設  
副原料タンク ..... 50本(1,380t)  
糖蜜タンク ..... 2本(100t)  
配合タンク ..... 71本(850t)  
製品タンク(袋、TB) ..... 15本(450t)  
バラ製品タンク ..... 34本(1,020t)



中央制御室



粉碎設備



圧ベン加工設備



自動包装設備



配合計量機



品質管理室





工場全景

## 主要設備(鶏豚専用工場)

- 配合設備 ..... 2系列  
 非抗菌性飼料系列 ..... 5tバッチミキサー  
 抗菌性飼料系列 ..... 5tバッチミキサー

- 主・副原料粉碎機 ..... 13台

- ペレット加工設備 ..... 2系列

- バラ製品出荷口 ..... 14ゲート

- サイロ施設  
 主原料サイロ ..... 6基(2,400t)

- タンク施設  
 副原料タンク ..... 66本(2,160t)  
 油脂タンク ..... 3本(50t)  
 糖蜜タンク ..... 1本(50t)  
 配合タンク ..... 86本(1,280t)  
 製品タンク(袋、TB) ..... 18本(540t)  
 バラ製品タンク ..... 86本(2,860t)



中央制御室



正門消毒施設



動蛋原料搬入設備



粉碎設備



サイロ・コンベアライン



製品倉庫



# 日向工場

## ●あゆみ

宮崎経済連飼料工場設立	昭和42年 4月
同工場操業開始	昭和43年 4月
宮崎くみあい飼料(株)へ社名変更	昭和48年 5月
会社合併	昭和57年 4月
配合工程増設	平成元年 6月
旧製品倉庫を牛用飼料専用倉庫へ改修	平成16年11月
鶏豚専用工場として出荷開始	平成17年 3月

## ●工場概要

土地	32,367㎡(約 9,808坪)
建物	13,143㎡(約 4,000坪)

## ●生産能力(定時)

鶏豚専用工場	12,000トン/月
--------	------------



工場全景

## 牛用飼料専用倉庫



## 主要設備(鶏豚専用工場)

- 配合設備 ..... 1系列
  - 非抗菌性飼料系列 ..... 3tバッチミキサー
  - 抗菌性飼料系列 ..... 3tバッチミキサー  
(計量機後分離)
- 主・副原料粉碎機 ..... 13台
- ペレット加工設備 ..... 2系列
- バラ製品出荷口 ..... 10ゲート
- サイロ施設
  - 主・副原料サイロ ..... 22基(10,500t)
  - グラブバケット設備 ..... 1基
- タンク施設
  - 副原料タンク ..... 32本(1,600t)
  - 糖蜜タンク ..... 1本(20t)
  - 油脂タンク ..... 4本(103t)
  - 配合タンク ..... 62本(760t)
  - バラ製品タンク ..... 126本(2,670t)



中央制御室



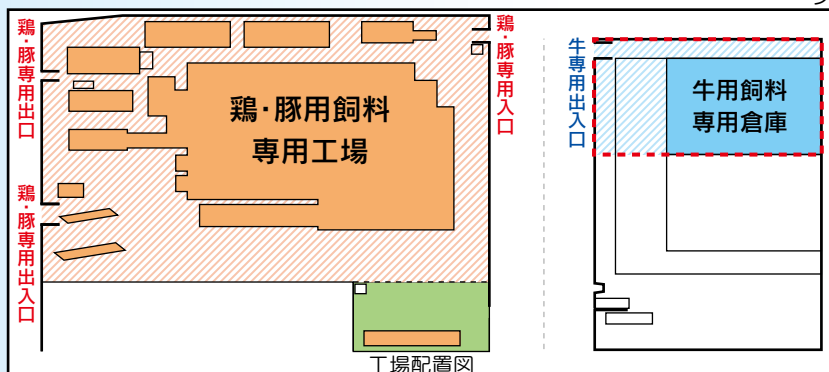
トラックスケールと副原料タンク



グラブバケット設備



品質管理室



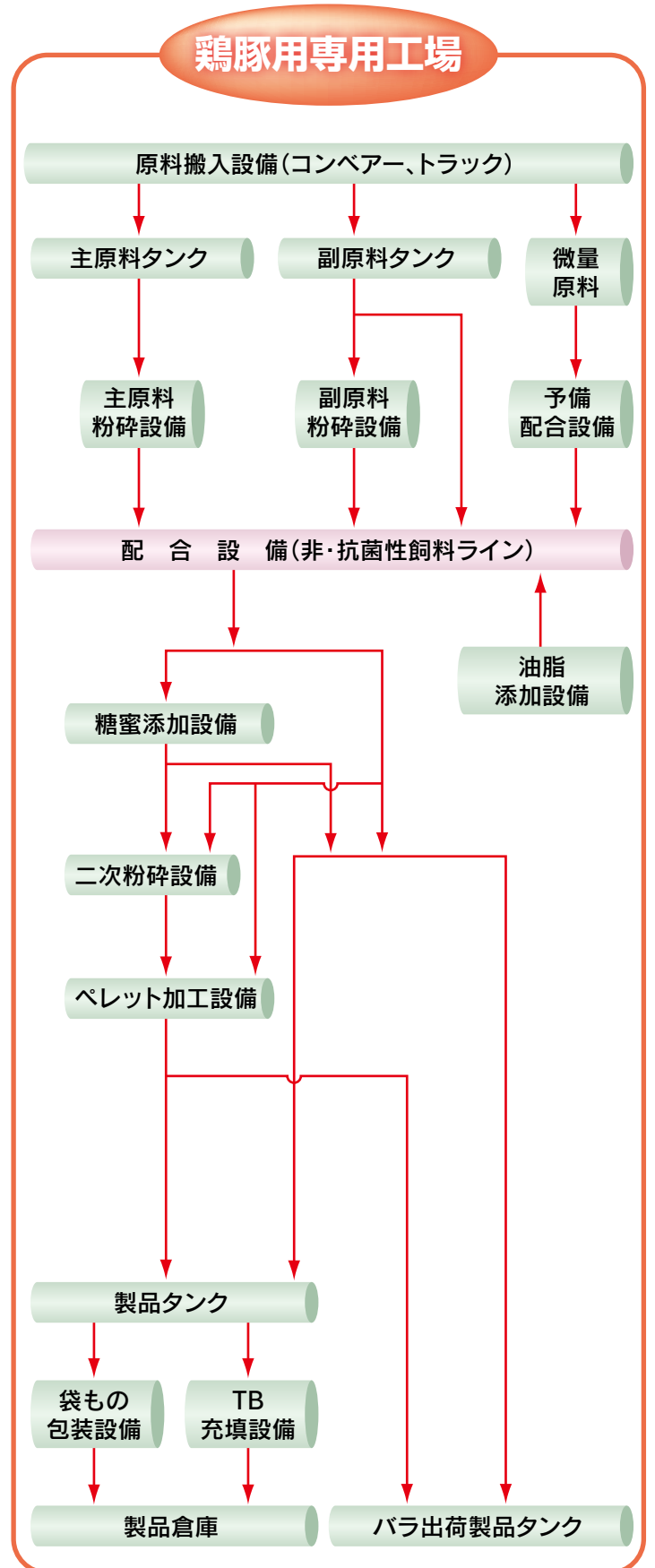
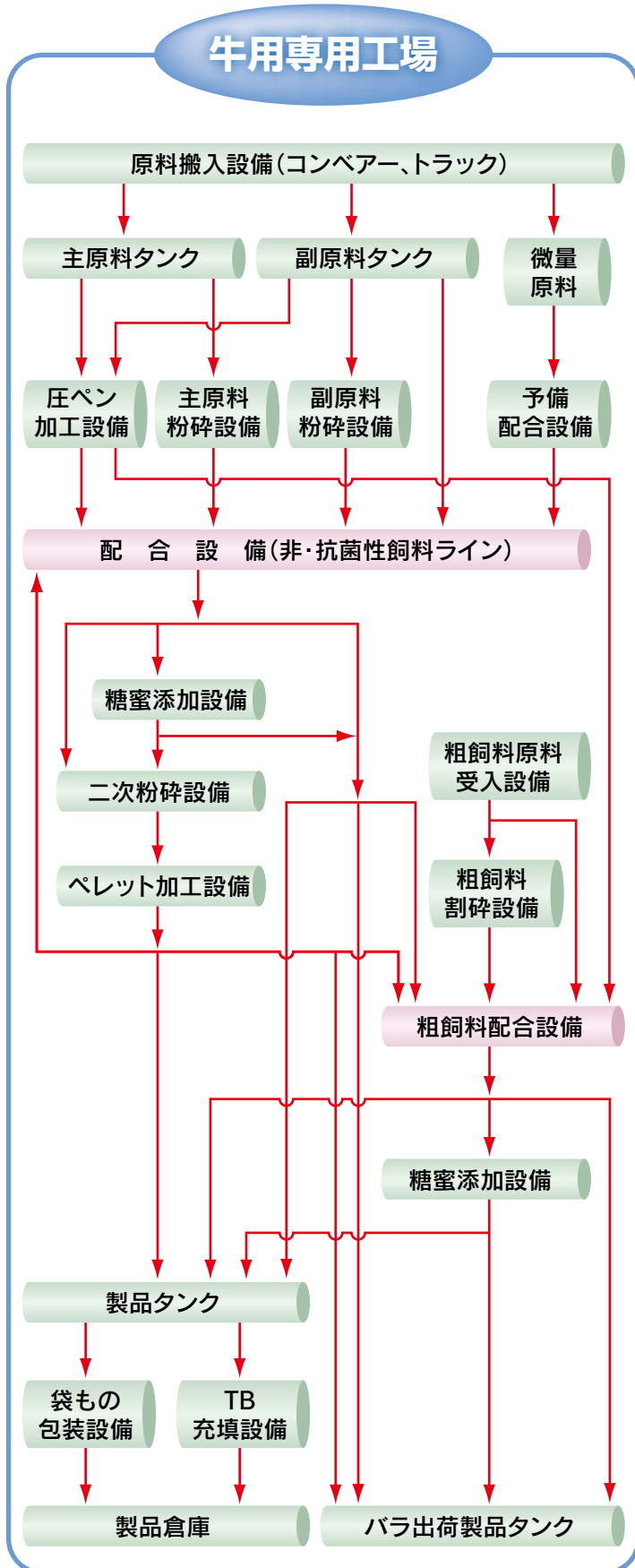
工場配置図



サイロ施設

# 製造工程フローチャート

- 牛用飼料は全て志布志・谷山の専用工場で製造します
- 鶏豚用飼料は3工場とも専用の非抗菌性飼料ライン、抗菌性飼料ラインで製造します





# 安全・安心への取り組み

## ◆品質管理システム

当社はISOシステムによる継続的な品質改善に努めています

全農をはじめJAグループの要望、系統畜産農家の負託に応え、さらなる顧客満足度の向上を目指し、品質マネジメントシステムの国際規格である『ISO9001:2008』を全事業所で認証取得しています。

【登録範囲】 飼料の製造及び販売

【対象範囲】 本社、志布志工場、谷山工場、日向工場



◆抗菌性GMPガイドラインに適合した配合飼料の品質及び安全性管理に努めています。

### ●原材料の管理

- ・受入時の検査 色、臭い、粒度等の官能検査  
成分検査、サルモネラ検査
- ・適正な保管管理

### ●製品の配合割合・表示票管理

- ・全農の製造供給指図書に基づく配合割合・表示票の管理  
飼料安全法・関稅定率法の遵守

### ●製造管理

- ・製造工程ごとの管理 最先端FAシステムを導入
- ・製品規格のチェック 製造ロット毎にチェック
- ・製品の量目管理
- ・製造設備の保守点検清掃

### ●製品の保管出荷管理

- ・製品の成分検査
- ・製品の先入れ先出しの徹底
- ・製品の専用容器の管理
- ・製品のトレーサビリティ管理
- ・製品保管施設の管理

### ●品質管理課での主な分析項目

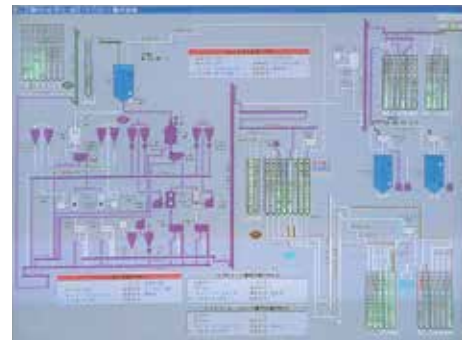
- ・一般成分分析
- ・ミネラル等微量成分分析
- ・粒度分布、耐久性、硬度分析
- ・抗菌性物質の管理分析
- ・サルモネラ検査
- ・その他

### ●総括品質管理委員会及び工場品質管理委員会の設置

- ・本社・工場毎に定期的開催



サルモネラ検査



FAシステム

原料・製品サンプルを低温で3ヶ月保管



サンプル保管冷蔵庫(12~15℃)

## ◆安全な牛用飼料供給システム

畜産農家の皆様に、安心してくみあい配合飼料をお使いいただくために、牛用飼料への動物性たん白質の混入を防止するさまざまな取り組みをおこなっています。

### ●牛用飼料と鶏豚用飼料の製造・出荷を、完全に別棟方式で専用化しました。

- ◆志布志工場:牛専用工場、鶏豚専用工場
- ◆谷山工場:牛専用工場、鶏豚専用工場
- ◆日向工場:鶏豚専用工場、牛専用倉庫(志布志工場からの受入出荷)



牛用飼料袋製品の積み込み

### ●飼料安全法ガイドライン制定に対応し、業務管理規程、生産管理規程を制定し、工場での品質管理体制を明確にしました。

飼料製造管理者、品質管理責任者の設置

### ●工場内での車・人動線を明確にしました。

- ・車両動線  
工場に出入りする全車両の入場から退場までの動きを、牛エリア、鶏豚エリア別に決めました。
- ・人動線  
人動線ラインを白線で表示しました。
- ・鶏豚エリアから牛エリアへの移動時は  
エアシャワー室を必ず通過します。

工場内の人動線を白線で表示している



人動線ライン



エアシャワー室

鶏豚エリアから牛エリアへの移動は必ずエアシャワー室を通過して

### ●鶏豚専用工場における動物性たん白質原料(B飼料)の受入は、全て専用ピットで行い、粉塵飛散を防止するシャッター設備を設置しました。



動蛋原料搬入設備

### ●牛専用工場で使用するフォークリフト車、清掃用具等の機材は専用化しました。

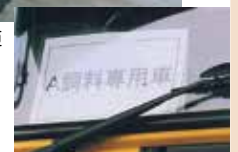


フォークリフト専用車

### ●牛用飼料は全て専用バルク車、専用コンテナバッグでお届けします。



専用バルク車



A飼料原料専用車



専用コンテナバッグ



# ◆安全衛生管理・防疫管理システム

## ●安全衛生委員会の設置

工場内における労働災害を未然に防止するとともに環境整備を推進するために、関係協力会社と一体となり、リスクアセスメントにもとづく安全衛生パトロール、ヒヤリハット、環境測定等の活動を行っています。

## ●有害動物等の駆除

ネズミ、鳩等の有害動物による飼料への悪影響、疾病侵入を防ぐため、契約業者による定期的な駆除を実施しています。

## ●バルク車タンク槽内消毒

鶏用バルク車を対象に、サルモネラ菌等による飼料への汚染を防止するため、ギ酸・酢酸等の有機酸によるバルク車内部の洗浄を実施しています。



バルク車タンク槽内消毒風景

## ●防疫管理の徹底

国内、中国、東南アジア等における鳥インフルエンザ、口蹄疫その他重要な家畜疾病の発生など、飼料畜産業界に対し、消費者はもとより畜産農家からも安全・安心が求められています。当社では畜産農家の皆様に安心してくみあい配合飼料をお使いいただくために、工場に入場する全ての車両、人を対象に防疫管理を実施しています。



工場玄関の手足消毒場



バルク車の消毒



人体消毒ZENゲート



# ◆多様なニーズに応える高品質の製品ラインナップ

牛専用工場  
製造銘柄

鶏豚専用工場  
製造銘柄

牛用



子牛用マッシュ



子牛用フレークペレット



肉牛用フレーク



母牛用粗飼料混合

鶏用



育すう用クランブル



成鶏用マッシュ



ブロイラー前期用マッシュ



ブロイラー仕上用マッシュ

豚用



ほ乳期子豚用細粒



子豚用マッシュ



子豚用クランブル



肉豚用ペレット

混合・単体  
飼料



単体とうもろこし圧ベン



単体大麦圧ベン



2種混合飼料



## 南日本くみあい飼料株式会社

本 社 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町15番地(JA鹿児島県会館7F)  
☎(099)258-5681 FAX 254-7667  
管理課E-mail mks-kanri@ml.j-bee.com  
企画室E-mail mks-kikaku@ml.j-bee.com  
業務課E-mail mks-gyoumu@ml.j-bee.com

志布志工場 〒899-7103 鹿児島県志布志市志布志町志布志3310番地  
☎(099)473-3511 FAX 473-3500  
E-mail mkssibusi@ml.j-bee.com

谷山工場 〒891-0122 鹿児島市南栄四丁目14番  
☎(099)269-1212 FAX 267-8134  
E-mail mkstaniyama@ml.j-bee.com

日向工場 〒883-0062 日向市大字日知屋字新開17371番地1  
☎(0982)52-4715 FAX 52-4719  
E-mail mkshyuga@ml.j-bee.com